



2021年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月10日

上場会社名 タビオ 株式会社
 コード番号 2668 URL <https://tabio.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長
 四半期報告書提出予定日 2020年7月16日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 越智 勝寛
 (氏名) 谷川 繁
 TEL 06-6632-1200

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	1,577	61.9	682		677		1,003	
2020年2月期第1四半期	4,140	0.7	228	1.7	229	2.5	149	1.1

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 1,006百万円 (%) 2020年2月期第1四半期 147百万円 (1.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	147.73	
2020年2月期第1四半期	22.02	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2021年2月期第1四半期	7,825		4,466		57.1
2020年2月期	8,756		5,677		64.8

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 4,466百万円 2020年2月期 5,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		30.00	30.00
2021年2月期					
2021年2月期(予想)		0.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年2月期の配当予想につきましては、現時点では未定です。

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

2021年2月期の連結業績予想につきましては、現時点では適正かつ合理的な算定が困難であることから未定としております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期1Q	6,813,880 株	2020年2月期	6,813,880 株
期末自己株式数	2021年2月期1Q	21,262 株	2020年2月期	21,262 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期1Q	6,792,618 株	2020年2月期1Q	6,808,281 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルスの感染拡大による業績への影響度合いも不透明であり、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であることから、今回の業績予想及び配当予想は未定としております。なお今後、適正かつ合理的な算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。
なお、業績予想に関する事項につきましては四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年5月31日)における国内経済におきましては、2月頃より、新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞が見られ始め、4月上旬には緊急事態宣言が発令されたことにより、全国的に消費や企業活動が抑制され、極めて厳しい経営環境となりました。5月下旬には、緊急事態宣言の解除が実施され、経済活動は再開の方向に向かっているものの、依然として先行きが不安定な状況が続いております。

国内衣料品販売におきましては、従来より拡大を続けていたEC販売やSNSを利用した販促活動が、新型コロナウイルス感染症による休業要請や外出自粛等により加速度的に進行することが見込まれており、今後はECサイトやSNSを前提とした商品マーチャンダイジングやリアル店舗の実現が一層重視されると考えられます。

このような状況の中で当グループは、店頭から生産現場までを結んだ情報システム網を活用し、製造・販売を一体化した自己完結型の国内生産体制の強みを生かしながら、多様に化する顧客ニーズに、機敏かつ柔軟に対応できるように尽力して参りました。

また、スピード重視の事業体制を実現すべく、当期より、EC販売を起点としたリアルとネットの融合強化を進め、従来の機能別組織から事業部制組織へ再編成を行いました。この再編を通じて、ブランド毎にリアルとネットの垣根を無くすOMO体制の構築を一貫して行い、各ブランドの特徴を明確に打ち出すことによって、全てのお客様に選んで頂ける「世界一の靴下総合企業」を目指して参ります。

当グループの主力部門である「靴下屋関連部門」では、SNSや動画配信サイトを駆使した販促や人気キャラクターとのコラボレーション商品の企画等、時代やトレンドに即した施策に加え、顧客ニーズの高い商品群を新たにインターネット販売に投入する等、幅広い顧客層に注目した取り組みを行って参りました。

「ショセット関連部門」における「ショセット事業」では、よりハイセンスな立地での『Tabio』店舗の出店に加え、働く女性に向けた高品質で機能性の高い商品の企画・提案を継続的に行うことによって、ハイセンスで付加価値の高いブランドイメージの構築に努めて参りました。さらに、本店ECサイトでの商品紹介コンテンツの充実等を積極的に行い、EC販売の強化にも取り組んで参りました。また、「紳士靴下事業」では、紳士靴下専門店の『Tabio MEN』を中心に、「メンズソックス」を当社の新たな柱となる商品にすべく様々な取り組みを行って参りました。まず、ファッションにこだわりを持った男性へのブランド認知度向上を図るべく、親和性の高いメンズブランドとのコラボレーション、百貨店向け商品の開発等の新たな販路開拓に継続的に取り組むと共に、メンズ単独店の新規出店準備にも取り組んで参りました。

「海外関連部門」では、イギリス支店において、イギリス国内向けECサイトの運営体制のテコ入れやSNSフォロワー数増加を目指した社内制度の導入等を行い、フランスの販売子会社Tabio France S.A.S.では、EC事業の強化や既存店舗のテコ入れを通して、欧州事業の安定した収益基盤の強化に継続的に取り組んで参りました。また、北米向けのEC事業では、SNS等による販促の強化に加え、米国向け商品の企画や現地セレクトショップとの取引開始等、Tabioブランドの認知度向上に向けた施策を継続的に行って参りました。

出店状況におきましては、フランチャイズチェーン店1店舗、直営店1店舗の新規出店と、フランチャイズチェーン店2店舗、直営店3店舗の退店により、当第1四半期連結累計期間末における店舗数は、フランチャイズチェーン店91店舗、直営店179店舗(海外5店舗を含む)、合計270店舗となりました。

また、今回の新型コロナウイルス感染拡大で、期初から店頭での顕著な客数減が見られ、4月上旬に発令された緊急事態宣言により、1ヶ月以上の間、最大で9割強の260店舗余りが臨時休業したものの、5月下旬の緊急事態宣言の解除に伴い、休業店舗数は60店舗余りにまで減少致しました。なお、リアル店舗が休業中、EC販売強化に向けた取り組みを行ったことにより、EC売上高は好調に推移しました。

利益面におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を考慮し、固定資産の減損会計の適用及び繰延税金資産の回収可能性等について検討を行った結果、減損損失115,993千円を計上し、繰延税金資産の一部を取り崩したことなどに伴い、法人税等調整額204,597千円を計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,577百万円（前年同四半期61.9%減）、営業損失は682百万円（前年同四半期は営業利益228百万円）、経常損失は677百万円（前年同四半期は経常利益229百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,003百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益149百万円）となりました。

なお、当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期（3月～8月）に比べ下半期（9月～2月）に販売される割合が大きくなっております。従いまして第1四半期を含む上半期の売上高と下半期の売上高との間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

また、第1四半期（3月～5月）は、第2四半期（6月～8月）と比較して売上高の水準が高くなる期間であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、商品168百万円増加しましたが、現金及び預金445百万円、売掛金345百万円、投資その他の資産のその他207百万円の減少があったこと等により、前連結会計年度末と比べて930百万円減少し、7,825百万円となりました。

負債については、電手記録債務322百万円、買掛金278百万円、賞与引当金88百万円減少しましたが、長期借入金800百万円、1年内返済予定の長期借入金168百万円の増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて279百万円増加し、3,359百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比べて1,210百万円減少し、4,466百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の64.8%から57.1%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による業績への影響度合いが未だ不透明であることから、現時点では未定とさせて頂き、今後予想が可能となりました段階で、速やかに公表致します。

また、2021年2月期の配当予想につきましても、業績予想を未定としていることから、現時点では未定とさせて頂きます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,801,415	2,356,024
売掛金	710,587	365,183
商品	691,872	860,153
貯蔵品	463	352
その他	137,220	156,869
貸倒引当金	△510	△1,141
流動資産合計	4,341,048	3,737,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	700,360	663,552
土地	1,182,654	1,182,654
その他(純額)	397,030	322,141
有形固定資産合計	2,280,045	2,168,348
無形固定資産		
496,363		486,123
投資その他の資産		
差入保証金	1,375,472	1,377,870
その他	263,430	55,909
投資その他の資産合計	1,638,902	1,433,779
固定資産合計	4,415,311	4,088,251
資産合計	8,756,360	7,825,692
負債の部		
流動負債		
買掛金	514,921	236,192
電子記録債務	668,793	346,670
1年内返済予定の長期借入金	63,200	231,960
未払法人税等	1,669	76
賞与引当金	109,903	20,977
ポイント引当金	38,333	40,824
資産除去債務	5,630	10,418
その他	739,337	742,609
流動負債合計	2,141,788	1,629,729
固定負債		
長期借入金	-	800,040
退職給付に係る負債	300,447	304,677
資産除去債務	293,469	288,260
その他	343,547	336,360
固定負債合計	937,465	1,729,338
負債合計	3,079,253	3,359,067

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,789	414,789
資本剰余金	92,424	92,424
利益剰余金	5,194,913	3,987,658
自己株式	△21,915	△21,915
株主資本合計	5,680,210	4,472,956
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,104	△6,331
その他の包括利益累計額合計	△3,104	△6,331
純資産合計	5,677,106	4,466,624
負債純資産合計	8,756,360	7,825,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
売上高	4,140,105	1,577,671
売上原価	1,786,480	674,538
売上総利益	2,353,624	903,132
販売費及び一般管理費	2,125,375	1,585,968
営業利益又は営業損失(△)	228,249	△682,835
営業外収益		
受取利息	62	6
仕入割引	3,031	1,828
為替差益	-	731
受取手数料	196	-
助成金収入	-	2,800
その他	1,891	1,014
営業外収益合計	5,182	6,380
営業外費用		
支払利息	837	1,025
為替差損	2,508	-
その他	608	155
営業外費用合計	3,955	1,180
経常利益又は経常損失(△)	229,476	△677,635
特別損失		
固定資産除却損	-	824
減損損失	-	115,993
特別損失合計	-	116,818
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	229,476	△794,454
法人税、住民税及び事業税	29,323	4,424
法人税等調整額	50,227	204,597
法人税等合計	79,551	209,021
四半期純利益又は四半期純損失(△)	149,925	△1,003,476
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	149,925	△1,003,476

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	149,925	△1,003,476
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,339	△3,227
その他の包括利益合計	△2,339	△3,227
四半期包括利益	147,586	△1,006,703
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147,586	△1,006,703
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当グループは、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の影響について)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、企業活動が停滞する中、当社グループの属するアパレル業界では商業施設や店舗の臨時休業や営業時間の短縮、外出自粛等による個人消費の冷え込みなどで極めて厳しい状況となりました。

国内営業店舗においては、2020年5月25日に「緊急事態宣言」が全国で解除され、全国の感染状況は大幅に改善されているものの、完全な収束には至っておらず、国内の売上高や利益額について感染拡大前の状況に戻るには、当連結会計年度末までの期間を要するものと想定しております。

また海外営業店舗においても、感染拡大による売上高や利益額への影響が出ており、来期以降も一定の影響が継続するものと想定しております。

上記の仮定を基礎として、当社グループでは、固定資産の減損会計の適用及び繰延税金資産の回収可能性等に関する会計上の見積りを行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間において減損損失115,993千円を計上し、繰延税金資産の一部を取り崩したことなどに伴い、法人税等調整額204,597千円を計上しております。